

縄文

くらは

は

のへびの たがら 宝だっ!

くらはってなあに?

野辺地町・有戸地区で発掘された国指定重要文化財の土偶です。「縄文くらは」はその土偶の愛称で、多くの人に親んでもらうために名づけられました。

くらををさらにPRするため、イラストレーター・トヨカワチエさんと野辺地中学校美術部がコラボし、PRキャラクターを制作しました。

くらははココで見られます!

野辺地町立歴史民俗資料館で展示しています。ただし、くらはは人気者のため、他の博物館等に出張し不在の時があります。確実に見学を希望する際は、お問合せください。

- くらのの特徴
- ・支えなしで立っていることができます。足が立派なので、自立できます。
 - ・縄文時代の服装や風習が推測できます。
 - ・体の線は服の模様、髪は編み上げていた、顔の線は刺青では?等、考えられています。

〈作られた時代〉縄文時代後期(約3,500年前)



縄文
くらは

- 〈開館時間〉9:00~16:00
 〈休館日〉月曜日・祝日・年末年始
 〈TEL〉0175-64-9494
 〈住所〉〒039-3131 青森県上北郡野辺地町字野辺地1番地3
 〈観覧料〉小・中学生:無料/高・大学生:100円/一般:210円
 ※20名以上の団体は半額、学校教育の一環としての観覧は無料

